

留 学 報 告 書

令和 7 年 6 月 3 日

学 部 法文学部 学科・課程 言語文化学科

氏 名 高田莉々花

1. 留学先大学・学部 国名 アメリカ合衆国

大学名 フロリダ大学

現地到着日 (2024 年 8 月 17 日) 授業開始日 (2024 年 8 月 22 日)

現地出発日 (2025 年 5 月 5 日) 授業終了日 (2025 年 5 月 2 日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

奨学金手続き、経済的支援の証明（銀行）、ワクチン接種、VISAの取得、飛行機の予約、アパートの契約、wiseアカウントの取得、フロリダ大学のGatorLinkの作成、履修する授業の登録、携帯電話の手続きなど

3. 自宅から留学先大学までの交通手段（乗物の種類、乗り換え地、所要時間）

自転車で15分

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

学生証の取得をオンラインで申請する際にアプリを入れて、情報を打ち込むと、数日で使えるようになります。（オリエンテーションで説明があります。）

Chase Bankで口座の開設をしました。日本語でのサポート対応がある銀行なので安心して利用できます。事件があったりしたときに注意勧告をしてくれるアプリをダウンロードします。

Canvasのアプリを入れて、履修する授業のページを開けるように設定します。（登録は大学がしてくれるため、アプリの取得だけで良いです。）

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

オリエンテーションの内容は、ミールプランの話や、ダウンロードすべきアプリの紹介、学生証の申請の仕方、大学内の案内などです。

プレースメントテストは特にありませんでした。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

課題の提出はオンライン（Canvas）で提出することが多く、授業のシラバスや緊急の情報などはそのCanvasから確認することが可能です。

授業後に出される課題とは別に、授業の前に読んでいくべきリーディング課題がどの授業もあり、授業内では自分の考えをグループで話したり、クラス全体で共有したりすることが多かったです。

試験は、筆記の試験や選択問題、教科書を見ながら回答してもいいテストなど授業によって様々でした。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

DAA1000 Dance Technique

WST2611 Humanities Perspectives Gender and Sexuality

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

大学内の寮に入れなかったなので、私はThe Continuum Apartmentsの部屋を借りて過ごしました。

冷蔵庫や電子レンジ、洗濯機や自分専用のお風呂やトイレがあり、プライベートな空間が必要な人にはおすすめです。私のルームメイトは残念ながらいませんでしたが、ルームシェアをすることも出来るので孤立してしまう心配はないと思います。大学内の寮よりは家賃が少し高いですが、快適に過ごせると思います。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

The Continuum Apartmentsの入居可能な日が、オリエンテーションの日より後だったので、3日くらい隣にあるホテルに宿泊していました。アカデミックイヤーで契約していたので冬休みなどの長期期間は閉まることなく、滞在場所に困ることはありませんでした。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

(どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等)

アメリカに着く前に空港で10万円くらい現金(ドル)にして持っていました。

Wiseのアカウントを日本出国前に作成し、日本の銀行からwiseにお金を移行して円からドルに換え、WiseからChaseの銀行口座に送って使用していました。Chase銀行でデビットカードを作ってもらい、それを使って買い物等をしていました。

11. キャンパス案内(どんなとき、どこへ行けばよいか等)

大学の手続きに困ったら、UF Official Office Study Abroadに行くと、丁寧に教えてくれます。

12. 現地案内(買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子)

Chase銀行は大学のすぐ近くにあるので利用しやすいです。

スーパーは大学の近くにPublixがありますが、そのスーパーは少し値段が高かったです。そのため私は週に一度、車を待っている友達にらせてもらって少し離れたTrader Joe'sとWalmartへ買い物をしに行っていました。車がなくてもバスを利用すれば行くことはできます。

13. 失敗談(どんな小さなことでも)

授業で発言することが求められた時、最初の学期は黙ってしまうことがありました。

State IDを発行してもらう時に必要な資料に記載された住所がそれぞれ全部違い、どれが正しい住所かわからなくなったことがありました。

友だちとの会話の中で自分が伝えたい単語を正しく発音できず、話がかみ合わないことがありました。

顔を見ても年齢が分からず、生徒と先生を間違えたことがありました。

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

病気になることなく過ごすことが出来ました。

15. お世話になった方々

メンキン先生に紹介していただいた方。

授業の先生方。

アメリカで出会った日本人の方。

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

フロリダディズニー、マイアミ、キーウエスト、ユニバーサルスタジオ フロリダ

友だちの車に乗せてもらいました。

ディズニーやユニバーサルスタジオはチケットが安いタイミングがあるので、フロリダ住民であることを証明できるものを持っているとお得に行けます。（State IDなど）

17. 気候と服装について

夏のシーズンは暑いので半袖は必須です。ただ室内は冷房がかかっているのでは羽織るものがあると良いと思います。

12月頃から2月は特に夜は冷え込むので寒かったです。ダウンを持って行かなかったのが、現地で購入しました。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品、衣服、食品、薬、運転免許証等）

薬（風邪薬、頭痛薬、胃薬、痛み止め等）、冬服（ダウン、ヒートテック）、USB、スキンケア商品

爪切り

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書、旅行案内書を含めて）

留学のための異文化トレーニング（勝又恵理子）

20. ホームステイの依頼方法

21. 留学費用について

1) 旅費	(往)	約 1 3 万	円,	(復)	約 1 1 万	円
2) 準備費用					2 5 万	円
3) 大学へ納入する費用						円
授業料（年間合計）						円
保険等その他の費用					2 0 万	円
4) 住居費（光熱費等含む）					月約 1 7 万	円
5) 衣服代, その他雑費						円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等						円
7) 留学先国内旅行費用					約 3 7 万	円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額					約 3 0 0 万	円
現地通貨	\$	日本円換算(レート)	150			円

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

できるだけ荷物を減らすために、友達にあげたり、処分して帰りました。

23. 留学して得たこと（全般についての感想文）

私はアメリカでの留学中に、黒人と白人の人種関係やジェンダーについての授業を多く履修しました。特に多様な人種や文化が共存するアメリカという環境だからこそ、教科書だけでは学べないような現実的で具体的な視点を得ることができました。授業では、黒人の奴隷の歴史がどのように現在の人種差別や社会的不平等につながっているのかを学びました。アメリカ社会では、制度的な差別や偏見が長い年月を経ても完全には解決されておらず、そうした課題が現代の生活や文化、政治、教育の場面にも影を落としていることを感じました。

また、日常生活の中でも、人種や社会階級の格差がさまざまな形で存在していることに気づかされました。例えば、住む地域や教育の機会、医療へのアクセスなどにおいて、構造的な不平等が依然として根強く残っていることに驚かされました。これらの学びを通して、自分自身の視野も広がり、人種やジェンダーの問題を一人の当事者として、より深く考えるようになりました。

これからは、交換留学で得た経験を自分の将来にどう生かしていくかが重要だと感じています。大学生として異なる文化や価値観の中で1年間学ぶことで、自分の考えをより明確に持ち、それを自信を持って伝える力が身についたと思います。授業やディスカッションでは、自分の意見を言葉にすることの大切さを実感し、同時に他者の意見を尊重しながら対話を深める姿勢も学びました。特に印象的だったのは、アメリカで出会った多くの友人たちが、人の意見に対して非常に肯定的だったことです。自分と異なる視点を持つ相手に対しても否定せず、むしろ新しい気づきや学びとして受け入れようとする姿勢に感銘を受けました。そうした環境の中で、お互いの違いを尊重し合いながら対話を重ねることで、より良い方向へと進んでいける「相乗効果」のようものが生まれるのを何度も感じました。

今後も、自分とは異なる時間軸や価値観を持つ人々と関わる中で、その違いを受け入れ、自分の視野を広げ続けていきたいです。そして、どんな場面においても、自分の考えをしっかりと持ちつつ、他者の声にも耳を傾けられるような姿勢を大切にしていきたいと考えています。
